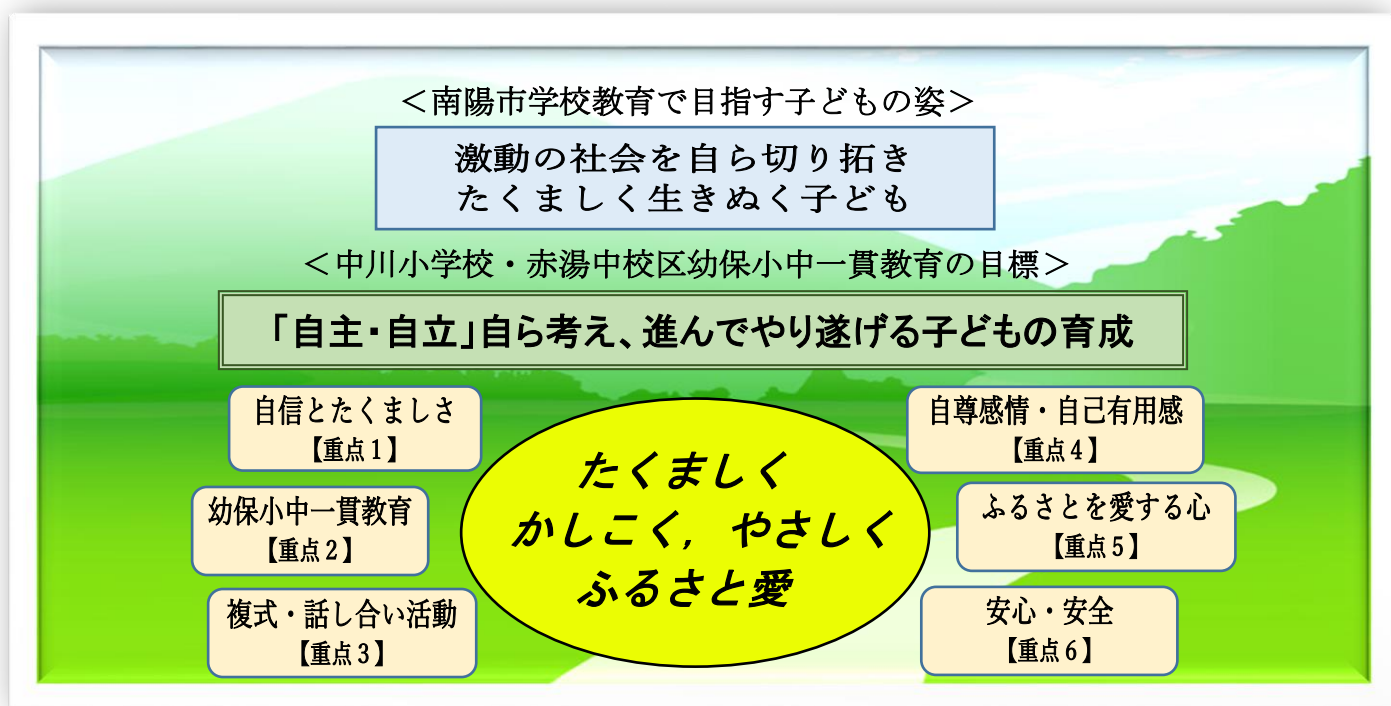




令和5年度学校経営の概要

1 学校教育目標（めざす子ども像）

- (1) **たくましく**（健康で明るい子ども）
根気強く最後までやりぬき、いきいきと生活できる子ども
- (2) **かしこく**（進んで勉強する子ども）
よく考え正しく判断し、意欲的に学び続ける子ども
- (3) **やさしく**（仲よく助け合う子ども）
仲間とかかわり合いながら、協力して活動できる子ども
- (4) **ふるさと愛**（ふるさとを愛する子ども）
地域に学び、地域とともに歩もうとする子ども



2 経営の方針

- (1) 国・県・南陽市の教育振興計画を受け、子ども一人一人の安心・安全を保障し、信頼ある学校づくりに努めるとともに、子どもの姿で学校教育目標の具現化を図る。
- (2) 幼保小中11年間の成長を見通した連続性のある教育課程を編成し、「幼保小中一貫教育」を推進する。
- (3) 学習指導要領の確実な履行と、赤湯中校区一貫研や校内研究をとおした授業改善に努め、確かな学力の定着を図る。
- (4) 家庭・地域と協働し、「ふるさとを愛する子ども」の育成を推進する。
- (5) 子ども一人一人が自尊感情や自己有用感を味わうことができるように、情操教育を核とした特色ある教育活動を推進する。

- (6) 教職員一人一人が経営参画意識を高く持ち、資質能力の向上を目指すとともに、カリキュラム・マネジメントを生かした教育活動を推進する。

3 経営の重点

(1) 教育活動全体で、互いの「よさ」を認め合い、一人一人に自信とたくましさ育てる。

- ① 様々な活動をとおして、一人一人に充実感や達成感を味わわせる。
 - ア 全体と個人、それぞれの目標や手立てを明確にした取り組み
 - イ 子どもの主体性を大事にし、ねらいを明確にした行事や児童会活動
 - ウ 一人一人を見取り、励みや自信となる教師の言葉がけと自己評価
- ② 互いに協力し、強い気持ちと健やかな体を育成する。
 - ア 校内体育行事を中核にした、日常の体力づくりの実施
 - イ 対外的行事への主体的・積極的な参加
- ③ たてわり活動や自主的活動をとおして、一人一人に成就感を味わわせる。
 - ア 縦割り活動をとおした責任感や思いやりの心の醸成
 - イ 主体的・積極的な対外的行事への参加と応募活動への取り組み

(2) 幼保小中一貫教育の目標である「自主・自立」(自ら考え、進んでやり遂げる子どもの育成)をめざし、課題を明確にして取り組む。

- ① 赤湯小学校、赤湯中学校との連携を核に、幼保小中一貫教育の一層の充実を図る。
 - ア 中川小幼保小中一貫教育「かがやきプラン」の改善と充実
- ② 11年間を見通したキャリア教育を推進し、夢や希望に向かって努力しようとする自信と意欲を育てる。
 - ア 教育課程全体から見通しのある計画作成
 - イ 将来を見通したキャリアプランニング能力の育成
- ③ 11年間を見通して、子どもの「育ち」につながる教育活動を行う。
 - ア 赤湯小との小小交流、赤湯中との小中交流、児童館との児小交流
 - イ 理数教育、国際化教育の推進
 - ウ あいさつ運動の推進
 - エ 情報モラルの育成
 - オ キャリア・パスポートの積み上げと活用
- ④ 令和7年度の赤湯小学校との統合を見据え、連携協議を推進する。
 - ア 教育委員会の指示の下、今後2年間における統合スケジュールに合わせた協議の推進
 - イ 教育課程や学校行事等、さまざまな教育活動の情報交換と相互交流の実施

(3) 複式指導・話し合い活動をとおして、自分を表現する力を育て、確かな学力の定着を図る。

- ① 学習指導要領の確実な履行を図るとともに、ICTを活用した授業改善を一層推進する。
 - ア 「めあて」と「振り返り」を明確にした指導計画の作成
 - イ 教科横断的な視点での日常的な授業改善
- ② 毎日の授業において、表現力(自ら考え判断し、自分の言葉で表現し、聞き手が理解する)を育む授業づくりを進める。

- ア 少人数における一人一人を伸ばす授業づくり（中川小だからこそできる学習）
- イ 複式指導のよさを生かした指導
- ウ 探究型授業づくりを追究する校内研究
- ③ 家庭学習の充実を図り、学習の定着を図る。
 - ア 系統的な指導をもとにした家庭学習の習慣化
 - イ 個々に応じた適切な学習課題の設定と自主学習の取り組み

(4) 自尊感情や自己有用感を大切に、「自分」「仲間」「家族」「地域」を大事にする心を育てる。

- ① 自尊感情や自己有用感を高める活動を中核に「いのちの教育」を推進する。
 - ア 学級の係活動や当番活動、清掃、児童会活動、縦割り活動等における、自己有用感や責任感、リーダーシップの育成
 - イ 自分の「よさ」を伸ばす取り組み等、自尊感情を高める活動の充実
- ② 思いやりの心と規範意識、生命の継承を大切にすることを推進する。
 - ア 自分を大切に、相手を思いやる心情や態度を育てる「いのちの学習」の推進
 - イ 道徳教育を中核にし、教育活動全体で心を育む取り組み
 - ウ 家族や地域の大切さを教える学習や体験活動の実施
- ③ 一人一人を大切に、切れ目のない特別支援教育を一層充実させる。
 - ア 児童理解をもとに、全職員で子どもを育てる校内体制のさらなる充実
 - イ 一人一人の教育的ニーズに応じた特別な支援を要する児童への指導・支援

(5) 家庭・地域との連携を一層深め、ふるさとを愛する心を育てる。

- ① 学校運営協議会を核として、地域・家庭との連携を一層深め、子ども達の積極的な地域参画活動を推進する。
 - ア 地域活動への積極的な参加や校外での発表
 - イ ボランティア活動、体験活動等の実施
 - ウ 地域（人、文化財、歴史、自然、風土等）を知り、地域を考える活動の実施
- ② 家庭・地域と連携した体験活動や探究活動など、子どもの自立につながる取り組みを一層推進する。
 - ア 家族とのコミュニケーションや生活リズムづくり
 - イ 家庭と連携した系統的な情報モラル教育の計画的な実施
- ③ 保護者や地域による学校支援の体制をより充実させ、子どもの豊かな情操の育成を図る。
 - ア 米作り、民話、よさこい踊り、読み聞かせ等、保護者・地域等による学校支援体制の充実

(6) 「いのち」を大切に、安全で安心な学校づくりに努める。

- ① 「自らの命は自ら守る」という意識を一層高める安全教育、防災教育を推進する。
 - ア 具体的に「起こりうる場面」を設定した交通安全教室や避難訓練等の実施
- ② 事故の未然防止のため定期的な安全点検と速やかな改善を図る。
 - ア 通学路の安全確保と施設設備の安全環境整備